

- 23) 第 20 回ばりあふりーお食事会. ホテルオークラ新潟, 2024 年 10 月 12 日.
- 24) 武田安永, 小貫和佳奈: 栄養を学ぼう!. 2024 年度摂食嚥下セミナー, 新潟大学医歯学総合病院 (新潟県・新潟市), 2024 年 10 月 10 日.
- 25) 前川和也, 坂 暢晃: 大切な食事介助のこと. 2024 年度摂食嚥下セミナー, 新潟大学医歯学総合病院 (新潟県・新潟市), 2024 年 9 月 26 日.
- 26) 真柄 仁, 鈴木 拓, 笹 杏奈: ワークショップ⑤ 嚥下記録の面白さを知ろう. 第 13 回顎口腔機能セミナー, ホテル千秋閣 (徳島県・徳島市), 2024 年 9 月 20-22 日.
- 27) 真柄 仁; 留学体験記. 第 13 回顎口腔機能セミナー, ホテル千秋閣 (徳島県・徳島市), 2024 年 9 月 20-22 日.
- 28) 伊藤加代子: 歯科におけるカウンセリングの紹介 Ver.3. 新潟県カウンセリング協会研修会, 新潟市総合福祉会館 (新潟県・新潟市), 2024 年 9 月 15 日.
- 29) 伊藤加代子: ラインケア～より良い組織・チームづくりのためのコミュニケーション～. 東芝ホームテクノ株式会社 (新潟県・新潟市), 2024 年 9 月 13, 19 日.
- 30) 小貫和佳奈, 相澤知里: 口と身体の関係. 2024 年度摂食嚥下セミナー, 新潟大学医歯学総合病院 (新潟県・新潟市), 2024 年 9 月 12 日.
- 31) 伊藤加代子: 健康でおいしく・楽しく食べる～唾液と味覚の役割を中心に～. そのき市民学級, 曾野木公民館 (新潟県・新潟市), 2024 年 9 月 10 日.
- 32) 笹 杏奈, 川田里美: 「話す」の訓練とは. 2024 年度摂食嚥下セミナー, 新潟大学医歯学総合病院 (新潟県・新潟市), 2024 年 8 月 22 日.
- 33) 水口俊介, 會田英紀, 伊藤加代子, 有友たかね, 大渡凡人, 中根綾子, 原野 望, 竜 正, 小笠原 正, 尾立 光: 老年歯科医学 診療参加型臨床実習マニュアル「口腔機能低下症の検査」. 老年歯科医学, 39(suppl):13-40, 2024 年 8 月 20 日, https://doi.org/10.11259/jsg.39.supplement_13
- 34) 羽尾直仁, 濱島北斗: 地域の病院に学ぶ②. 2024 年度摂食嚥下セミナー, 新潟大学医歯学総合病院 (新潟県・新潟市), 2024 年 8 月 8 日.
- 35) 伊藤加代子: 口腔ケアの実際と食事介助の基本. 2024 年度口腔ケア研修会, 新潟県社会福祉協議会, Web 開催, 2024 年 7 月 31 日.
- 36) 辻村恭憲, 河野 茜: 「食べる」の訓練とは. 2024 年度摂食嚥下セミナー, 新潟大学医歯学総合病院 (新潟県・新潟市), 2024 年 7 月 25 日.
- 37) 真柄 仁, 小貫和佳奈, 井上 誠: 新潟大学医歯学総合病院歯科外来患者における口腔機能低下症と身体機能の関連評価. フレイル対策二次予防事業等実施報告会, 新潟県医師会館 (新潟県・新潟市), 2024 年 7 月 22 日.
- 38) 伊藤加代子, 板 離子: くちのかわき・味覚障害. 2024 年度摂食嚥下セミナー, 新潟大学医歯学総合病院 (新潟県・新潟市), 2024 年 7 月 11 日.
- 39) 船山さおり, 筒井雄平: 口腔ケアを学ぼう!. 2024 年度摂食嚥下セミナー, 新潟大学医歯学総合病院 (新潟県・新潟市), 2024 年 6 月 27 日.
- 40) 江川広子, 小貫和佳奈: 地域の病院に学ぶ①. 2024 年度摂食嚥下セミナー, 新潟大学医歯学総合病院 (新潟県・新潟市), 2024 年 6 月 13 日.
- 41) 相澤知里: お仕事紹介 File02 歯科医師 高校生・中学生の進路選択に役立つ医療介護栄養のお仕事まるわかり事典. 16-17, 株式会社日本医療企画北信越支社, 2024 年 5 月 31 日.
- 42) 笹 杏奈, 菊池裕子, 伊藤加代子: 「食べる」の仕組み. 2024 年度摂食嚥下セミナー, 新潟大学医歯学総合病院 (新潟県・新潟市), 2024 年 5 月 23 日.
- 43) 川田里美: 新潟大学未来社会を牽引するグローバルな総合知を備えたフロントランナー育成プロジェクト (次世代プロジェクト), 2024.
- 44) 筒井雄平: 新潟大学未来社会を牽引するグローバルな総合知を備えたフロントランナー育成プロジェクト (次世代プロジェクト), 2024.
- 45) 濱島北斗: 新潟大学未来社会を牽引するグローバルな総合知を備えたフロントランナー育成プロジェクト (次世代プロジェクト), 2024.
- 46) Ho Yin Leung: 新潟大学未来社会を牽引するグローバルな総合知を備えたフロントランナー育成プロジェクト (次世代プロジェクト), 2024.
- 47) 板 離子: 新潟大学未来社会を牽引するグローバルな総合知を備えたフロントランナー育成プロジェクト (次世代プロジェクト), 2024.
- 48) 出羽 希: 新潟大学未来社会を牽引するグローバルな総合知を備えたフロントランナー育成プロジェクト (次世代プロジェクト), 2024.
- 49) 相澤知里: 新潟大学未来社会を牽引するグローバルな総合知を備えたフロントランナー育成プロジェクト (次世代プロジェクト), 2024.

硬組織形態学分野

【論文】

- 1) Ohshima H, Ono K, Mishima K: Oral biosciences: The annual review 2024. J Oral Biosci 67(1): 100631, 2025.
- 2) Ushiki T, Mochizuki T, Osawa M, Suzuki K, Tsujino T,

- Watanabe T, Mourão CF, Kawase T: Plasma gel matrix as a promising carrier of epigallocatechin gallate for regenerative medicine. *J Funct Biomater* 15(4): 98, 2024.
- 3) Abe M, Kanavati F, Tsuneki M: Evaluation of a deep learning model for metastatic squamous cell carcinoma prediction from whole slide images. *Arch Pathol Lab Med* 148(12): 1344-1351, 2024.
 - 4) Lee DJ, Kim P, Kim HY, Park J, Lee SJ, An H, Heo JS, Lee MJ, Ohshima H, Mizuno S, Takahashi S, Jung HS, Kim SJ: MAST4 regulates stem cell maintenance with DLX3 for epithelial development and amelogenesis. *Exp Mol Med* 56(7): 1606-1619, 2024.
 - 5) Yamamoto S, Yamamoto K, Hirao Y, Yamaguchi K, Nakajima K, Sato M, Kawachi M, Domon M, Goto K, Omori K, Iino N, Shimada H, Aoyagi R, Ei I, Goto S, Goto Y, Gejyo F, Yamamoto T, Narita I: Mass spectrometry-based proteomic analysis of proteins adsorbed by hexadecyl-immobilized cellulose bead column for the treatment of dialysis-related amyloidosis. *Amyloid* 31(2): 105-115, 2024.
 - 6) Kaku N, Kawachi M, Wakui A, Miyazawa M, Imai M, Takahashi N, Sato A, Abe T, Sato H, Kato Y, Okabe R, Naruse Y, Sato N, Asano N, Morohashi M, Sano H, Washio J, Abiko Y, Tanaka K, Takahashi N, Sato T: Molecular microbiological profiling of bottled unsweetened tea beverages: A screening experiment. *J Oral Biosci* 66(3): 628-632, 2024.
 - 7) Moreira MA, Moreira MM, Lomonaco D, Cáceres E, Witek L, Coelho PG, Shimizu E, Quispe-Salcedo A, Feitosa VP: Effects on dentin nanomechanical properties, cell viability and dentin wettability of a novel plant-derived biomodification monomer. *Dent Mater* 40(10): 1584-1590, 2024.
 - 8) Quispe-Salcedo A, Yamazaki T, Ohshima H: Effects of synthetic toll-like receptor 9 ligand molecules on pulpal immunomodulatory response and repair after injuries. *Biomolecules* 14(8): 931, 2024.
 - 9) Zapata-Sifuentes M, Quispe-Salcedo A, Watanabe T, Kawase T, Ohshima H: Effect of leukocyte and platelet-rich plasma on osseointegration after implant placement in mouse maxilla. *Regen Ther* 26: 741-748, 2024.
 - 10) Ikeda Y, Yasuhara R, Tanaka J, Ida-Yonemochi H, Akiyama H, Otsu K, Miyamoto I, Harada H, Yamada H, Fukada T, Irié T: PLAG1 overexpression in salivary gland duct-acinar units results in epithelial tumors with acinar-like features: Tumorization of luminal stem/progenitor cells may result in the development of salivary gland tumors consisting of only luminal cells. *J Oral Biosci* 66(4): 88-97, 2024.
 - 11) Quispe-Salcedo A, Suzuki-Barrera K, Zapata-Sifuentes M, Watanabe T, Kawase T, Ohshima H: Pulpal responses to leukocyte- and platelet-rich plasma treatment in mouse models for immediate and intentionally delayed tooth replantation. *Appl Sci* 14(23): 11358, 2024; <https://doi.org/10.3390/app142311358>.
 - 12) Shimamura K, Nojiri T, Kondo H, Ikeda Y, Yasuhara R, Ida-Yonemochi H, Otsu K, Harada H, Mishima K, Ohshima H, Kobayashi T, Irié T: The potential role of chromodomain helicase DNA-binding protein 3 in defining the cervical width by regulating the early growth stage of the apical papilla during tooth development. *J Oral Biosci*. 67(1): 100604, 2025.
- 【商業誌】**
- 1) 大島勇人, 高見寿子: 顔面表情筋の解剖 (林 礼人 編集: 特集/顔面神経麻痺 診断と治療—初期対応から後遺症治療まで). *PEPARS* 214: 9-17, 2024.
- 【研究費獲得】**
- 1) 大島勇人, Quispe Salcedo Angela, 常木雅之, 依田浩子, 山崎智彦: 樹状細胞・マクロファージ制御による歯髓静的幹細胞/前駆細胞の恒常性維持と活性化. 日本学術振興会科学研究費補助金 基盤研究(B), 23H03078, 2024.
 - 2) 高橋 克, 石守崇好, 時田義人, 大島勇人, 清水律子, 中島貴子: 先天性無歯症患者の欠如歯を再生する新規抗体医薬品の開発, 国立研究開発法人日本医療研究開発機構 2024 年度/令和 6 年度 創薬ベンチャーエコシステム強化事業/ 創薬ベンチャー, 24019336, 2024.
 - 3) 依田浩子, 大島勇人, 中村卓史: オートファジーによる歯の幹細胞老化制御メカニズムの解明. 日本学術振興会科学研究費補助金 基盤研究(C), 24K12867, 2024.
 - 4) 大島邦子, 大島勇人, 早崎治明, 佐野拓人: 再植歯の人為的髓床底穿孔と神経伝達シグナル調節による歯髓再生療法の開発. 日本学術振興会科学研究費補助金 基盤研究(C), 23K09411, 2024.
 - 5) 下村淳子, 森田貴雄, 大島勇人: プロテオミクスによるタンパク質選定と歯の発生段階における発現機能の新解析. 日本学術振興会科学研究費補助金 基盤研究(C), 23K09424, 2024.
 - 6) 武藤徳子, 石井信之, 大島勇人: 歯髓損傷後の修復過程における PD-1/PD-L1 機構を介した免疫制御

機序の解明. 日本学術振興会科学研究費補助金 基盤研究(C), 24K12937, 2024.

- 7) 興地隆史, 川島伸之, 大島勇人, 野田園子, 藤井真由子: 低酸素特異的転写調節因子 HIF1 α が誘導する歯髄組織特異的硬組織誘導のメカニズム. 日本学術振興会科学研究費補助金 基盤研究(C), 22K09960, 2024.
- 8) 川島伸之, 大島勇人, 興地隆史: 歯髄幹細胞の硬組織形成細胞分化におけるインテグリンシグナルの役割とその臨床応用. 日本学術振興会科学研究費補助金 基盤研究(C), 24K12909, 2024.
- 9) 大島勇人, 佐藤雅彦, 高見寿子: 解剖学モデルの開発. 共同研究, 2024.
- 10) 依田浩子, 大野佑樹: 令和6年度-令和7年度 ロート製薬株式会社 共同研究, 2024.

【招待講演・シンポジウム】

- 1) 大島勇人: 歯髄の生物学的特性と再生能の観点から歯髄保護を考える(可逆性・不可逆性歯髄炎の解釈と診断のために). 第45回日本歯内療法学会学術大会シンポジウム1「これからの歯髄保護」, 大阪, 2024年7月20-21日.
- 2) 大島勇人: 歯の進化と発生. 第66回歯科基礎医学会学術大会 日本学術会議シンポジウム(市民公開講座)「あごと顔の発生と進化」, 長崎, 2024年11月2-4日. J Oral Biosci Suppl 2024, p.39, 2024.
- 3) 大島勇人: 若手研究者が知っておくべき研究&学術論文作成に必要な動物実験計画・統計学の基礎知識. 第66回歯科基礎医学会学術大会 教育講演(主催: 編集委員会), 長崎, 2024年11月2-4日. J Oral Biosci Suppl 2024, p.86, 2024.
- 4) 大島勇人: 接合上皮の解剖学的特性. 第66回歯科基礎医学会学術大会 メインシンポジウム3「歯周病予防の最前線-接合上皮から考える歯を守るバリア機能」, 長崎, 2024年11月2-4日. J Oral Biosci Suppl 2024, p.90, 2024.

【学会発表】

- 1) Quispe-Salcedo A, Yamazaki T, Ohshima H: In vivo assessment of synthetic toll-like receptor 9 ligand molecules for the treatment of the afflicted dental pulp following tooth replantation in mice. 22nd World Congress on Dental Traumatology, Tokyo, Japan, July 12-15th, 2024.
- 2) Quispe-Salcedo A: Histological approach to the application of platelet-rich plasma in implantology and dental avulsion in animal models (In spanish: Enfoque histológico de la aplicación de plasma rico en plaquetas

en implantología y avulsión dental en modelos animales). 2nd Annual Meeting of the SBIOC-IADR. On -line, December 2024.

- 3) 大島勇人: 人体解剖学実習の取り組み: 新しい解剖術式の開発と学生の主体的な学習を促す学習方略. 第43回日本歯科医学教育学会学術大会, 名古屋, 2024年9月6-7日, 第43回日本歯科医学教育学会学術大会プログラム・抄録集 p80 2024.
- 4) Zapata-Sifuentes Mauricio, Quispe-Salcedo Angela, Watanabe Taisuke, Ohshima Hayato: マウス顎骨へのインプラント埋入後のオッセオインテグレーションへのリンパ球-多血小板血漿(L-PRP)の効果, 第57回新潟歯学会総会, 新潟, 2024年4月13日, 新潟歯学会誌 54(1): 53-54, 2024.
- 5) 依田浩子, 佐野拓人, 大島勇人: オートファジー不全による歯髄細胞および象牙質形成への影響. 第66回歯科基礎医学会学術大会, 長崎, 2024年11月2-4日. J Oral Biosci Suppl 2024, p.107, 2024.
- 6) 佐野拓人, 大島邦子, Quispe-Salcedo Angela, 岡田康男, 佐藤拓一, 大島勇人: マウス歯の再植時の意図的穿孔形成がマクロファージの時空間ダイナミクスに与える影響. 第66回歯科基礎医学会学術大会, 長崎, 2024年11月2-4日. J Oral Biosci Suppl 2024, p.246, 2024.
- 7) 大島理紗, Quispe-Salcedo Angela, 大島勇人, 川島伸之, 興地隆史: オステオポンチン欠損は mineral trioxide aggregate による直接覆髄後の修復象牙質形成を阻害する. 第66回歯科基礎医学会学術大会, 長崎, 2024年11月2-4日. J Oral Biosci Suppl 2024, p.296, 2024.
- 8) 大島秀介, Quispe-Salcedo Angela, 依田浩子, 植木雄志, 堀井 新, 大島勇人: TetOP-H2B-GFP システムと EdU パルス追跡実験を用いた唾液腺幹細胞の発生および再生時の動態. 第68回日本唾液腺学会学術集会, 東京, 2024年12月7日. 日本唾液腺学会誌 2024 vol.64 p.18, 2024.
- 9) 大野佑樹, 大島秀介, 植木雄志, 堀井 新, 大島勇人, 依田浩子: 唾液腺分化における AMP-activated protein kinase (AMPK) の役割. 第68回日本唾液腺学会学術集会, 東京, 2024年12月7日. 日本唾液腺学会誌 2024 vol.64 p.20, 2024.
- 10) 大津圭史, 池崎晶二郎, 後藤-松元奈緒美, 大島勇人, 中西-松井真弓, 原田英光: エナメル石灰化における V-ATPase a3 アイソフォームを介した分泌リソソームの輸送. 第130回日本解剖学会総会・全国学術集会・第102回日本生理学会大会・第98回日本薬理学会年会合同大会, 千葉, 2025年3月17-19日. プログラム集 2025.

- 11) 依田浩子, 佐野拓人, 大野佑樹, 大島勇人: 歯髓組織の発生・創傷治癒・老化過程におけるオートファジーの役割. 第130回日本解剖学会総会・全国学術集会・第102回日本生理学会大会・第98回日本薬理学会年会合同大会, 千葉, 2025年3月17-19日. プログラム集2025.
 - 12) 大野佑樹, 大島秀介, 植木雄志, 堀井 新, 大島勇人, 依田浩子: 液腺分化における AMP-activated protein kinase (AMPK) の役割. 第130回日本解剖学会総会・全国学術集会・第102回日本生理学会大会・第98回日本薬理学会年会合同大会, 千葉, 2025年3月17-19日. プログラム集2025.
 - 13) Angela Quispe-Salcedo, Kiyoko Suzuki-Barrera, Mauricio Andre Zapata-Sifuentes, 大島勇人: In vivo interaction of osteopontin and immune cells during the pulpal healing process following severe injuries. 第130回日本解剖学会総会・全国学術集会・第102回日本生理学会大会・第98回日本薬理学会年会合同大会, 千葉, 2025年3月17-19日. プログラム集2025.
 - 14) Angela Quispe-Salcedo, Mauricio Andre Zapata-Sifuentes, 山崎智彦, 大島勇人: Effects of immobilized osteopontin on osseointegration after dental implantation into mouse maxillae. 第25回日本再生医療学会総会, 横浜, 2025年3月20-22日.
- 【その他】**
- 1) Ohshima H: Vice Editor-in-Chief, Journal of Oral Biosciences
 - 2) Ohshima H: Section Editor, Regenerative Therapy
 - 3) Ohshima H: Editor-in-Chief, Anatomical Science International
 - 4) Ida-Yonemochi H: Editorial Board, Frontiers in Dental Medicine
 - 5) Ida-Yonemochi H: Managing Editor, Anatomical Science International
 - 6) Tsuneki M: Associate Editor, Technology in Cancer Research & Treatment
 - 7) Tsuneki M: Guest Editor, Diagnostics (Basel)
 - 8) Tsuneki M: Editorial Board, BMC Cancer
 - 9) Takami Hisako, Kobayashi Yuka, Makishi-Takano Sanako, Katsumi Yuji, Sato Noboru, Ohshima Hayato: New anatomical dissection procedure with special reference to the layer-structured facial muscles and fasciae and mouth floor. 第44回 峠の会 形態科学セミナー, 阿賀町, 2024年8月1日.
 - 10) 依田浩子: 糖代謝調節による歯髓細胞分化制御. 第44回 峠の会 形態科学セミナー, 阿賀町, 2024年8月1日.
 - 11) Quispe-Salcedo Angela: Evaluation of the pulpal responses of replanted mouse molars to local treatment with L-PRP according to extraoral time. 第44回 峠の会 形態科学セミナー, 阿賀町, 2024年8月1日.
 - 12) 大島勇人: インプラント臨床に役に立つマクロ解剖学. 日本橋インプラントセンター研修会, 東京, 2024年9月12日.
 - 13) 大島勇人: 歯科の再生医療. 第16回エナメル質比較発生学懇話会, 妙高, 2024年9月25-26日.
 - 14) 原田英光, 大島勇人: (企画) 第66回歯科基礎医学会学術大会 メインシンポジウム3「歯周病予防の最前線-接合上皮から考える歯を守るバリア機能」, 1. 原田英光: 接合上皮から考える歯周病とシンポジウムのねらい; 2. 大島勇人: 接合上皮の解剖学的特性; 3. 山本松男: 接合上皮の発生・創傷治癒・再生のメカニズムと臨床的解釈; 池崎晶二郎, 大津圭史, 原田英光: 接合上皮のバリア機能から考える歯周病発症のリスク; 城戸瑞穂, 吉本怜子, 澤田孟志, 高玮琦: 歯肉接合上皮のメカノセンサーと歯周病, 長崎, 2024年11月2-4日. J Oral Biosci Suppl 2024, p.90, 2024.
 - 15) 大島勇人, 高橋 克: (企画) 第25回日本再生医療学会総会, シンポジウム 歯科再生の社会実装へ向けた strategy, 1. 高橋 克, 杉並亜希子: 歯の再生治療薬抗 USAG-1 抗体の社会実装; 2. 高木淳一, 三原恵美子: バイオ医薬の社会実装と AMED BINDS 支援～抗原生産から特殊抗体創出、遺伝子治療ベクター開発まで～; 3. 時田義人: 先天性無歯症の遺伝学; 4. 竹立匡秀, 村上伸也: 脂肪組織由来多系統前駆細胞を用いた歯周組織再生医療の社会実装への取り組み; 5. 喜早ほのか: 歯科再生における産学連携とベンチャー企業の挑戦—トレジェムバイオフーマの役割, 第25回日本再生医療学会総会, 横浜, 2025年3月20-22日.
 - 16) 原田英光, 大島勇人: (企画) 歯の発生の会・歯科再生会議第30回産学連携フォーラム「接合上皮から歯周病予防を考える—歯を守る最前線」, 幕張, 2025年3月16日.
 - 17) Quispe-Salcedo Angela: Biological basis for the use of triple antibiotic paste (3Mix-MP) (In Spanish: Fundamentos biológicos para el uso de la pasta triple antibiótica (3Mix-MP)). Invited lecturer for the Specialization Program in Pediatric Dentistry. Universidad de los Andes, Santiago de Chile, On-line lecture, October, 2024.
 - 18) 大島勇人: 学術論文作成と魅力的なプレゼンテーション法について. 新潟大学医学部保健学科リサーチ・メソッド・アドバンス, 新潟, 2024年6月22

日.

- 19) 大島勇人: 学術論文作成に必要な効率的な PubMed 文献検索法と画像処理について. 新潟大学医学部保健学科リサーチ・メソッド・アドバンス, 新潟, 2024 年 6 月 22 日.
- 20) 大島勇人: 歯と歯根周囲の組織学・歯根と歯髄腔の解剖学・歯の痛みの生理学. 神奈川歯科大学特別講義, 横須賀, 2024 年 8 月 27 日.
- 21) 依田浩子: エネルギー代謝調節による歯の細胞分化制御. 岩手医科大学大学院特別セミナー, 盛岡, 2024 年 11 月 19 日.
- 22) 大島勇人: 組織学の研究法. 新潟大学医学部保健学科特別講義, 新潟, 2024 年 11 月 29 日.
- 23) 大島勇人: 歯髄の生物学的特性と再生能の観点から歯髄保護を考える. 東京医科歯科大学大学院特別セミナー, 東京, 2025 年 1 月 30 日.

口腔病理学分野

【著書】

- 1) 田沼順一: 口腔組織・発生学 第 3 版 (前田健康 他編), 187-188 頁, 医歯薬出版, 東京, 2024.
- 2) 田沼順一: 歯学生のための基礎病理学 (田沼順一他編), 187-194 頁, 200-211 頁, 234-248 頁, 医歯薬出版, 東京, 2024.
- 3) 山崎 学: 歯学生のための基礎病理学 (田沼順一他編), 194-200 頁, 医歯薬出版, 東京, 2024.
- 4) 阿部達也: 歯学生のための基礎病理学 (田沼順一他編), 287-289 頁, 医歯薬出版, 東京, 2024.
- 5) 田沼順一: 口腔解剖学 第 3 版 (前田健康 他編), 304-308 頁, 医歯薬出版, 東京, 2025.

【論文】

- 1) Fujii S, Hasegawa K, Maehara T, Kurppa KJ, Heikinheimo K, Warner KA, Maruyama S, Tajiri Y, Nör JE, Tanuma J, Kawano S, Kiyoshima T: Wnt/ β -catenin-c-kit axis may play a role in adenoid cystic carcinoma prognostication. *Pathology Research and Practice* 254: 155148, 2024.
- 2) Haga K, Funayama A, Yamazaki M, Maruyama S, Hara T, Saito N, Saito D, Sotsuka Y, Hayashi T, Tanuma J, Kobayashi T: Extensive ameloblastic fibroma of the mandible in an elderly woman: A case report and review of the literature. *Journal of Oral and Maxillofacial Surgery, Medicine, and Pathology* 36 (3): 333–340, 2024.
- 3) Kobayashi R, Hirai H, Maruyama S, Tanuma J,

Tomihara K: Oral Focal Mucinosi s of the Tongue: Case Report and Review of the Literature. *Cureus* 16(8): e67882, 2024.

- 4) Takaichi M, Tachinami H, Takatsuka D, Yonesi A, Sakurai K, Rasul MI, Imaue S, Yamada S, Ruslin M, Yamazaki M, Tanuma J, Noguchi M, Tomihara K: Targeting CD36-Mediated Lipid Metabolism by Selective Inhibitor-Augmented Antitumor Immune Responses in Oral Cancer. *International Journal of Molecular Sciences* 25(17): 9438, 2024.
- 5) Kawasaki M, Kawasaki K, Sari FT, Kudo T, Nihara J, Kitamura M, Nagai T, Utama V, Ishida Y, Meguro F, Kesuma A, Fujita A, Nishimura T, Kogure Y, Maruyama S, Tanuma J, Kakihara Y, Maeda T, Ghafoor S, Khonsari RH, Corre P, Sharpe PT, Cobourne M, Franco B, Ohazama A: Cell-cell interaction determines cell fate of mesoderm-derived cell in tongue development through Hh signaling. *eLife* 13: e85042, 2024.
- 6) Akimori Y, Yamazaki M, Maruyama S, Abé T, Tomihara K, Maeda T, Tanuma J: Searching for new early detection markers of oral epithelial dysplasia and oral squamous cell carcinoma using oral liquid-based cytology. *Journal of Oral and Maxillofacial Surgery, Medicine, and Pathology* 36(4): 624-631, 2024.
- 7) Yonesi A, Tomihara T, Takatsuka D, Tachinami H, Yamazaki M, Jadidi ARY, Takaichi M, Imaue S, Fujiwara K, Yamada S, Tanuma J, Noguchi M: Rapamycin induces phenotypic alterations in oral cancer cells that may facilitate antitumor T cell responses. *Biomedicines* 12(5), 1078, 2024.
- 8) Takatsuka D, Tachinami H, Suzuki N, Yamazaki M, Yonesi A, Takaichi M, Imaue S, Yamada S, Tanuma J, Noguchi M, Tomihara K: PAK4 inhibition augments anti-tumour effect by immunomodulation in oral squamous cell carcinoma. *Scientific Reports* 14: 14092, 2024.
- 9) Hayashi K, Takagane K, Itoh G, Kuriyama S, Koyota S, Meguro K, Ling Y, Abé T, Ohashi R, Yashiro M, Mizuno M, Tanaka M: Cell-cell contact-dependent secretion of large-extracellular vesicles from EFNB high cancer cells accelerates peritoneal dissemination. *British Journal of Cancer* 13(6): 982-995, 2024.
- 10) Naito E, Igawa K, Takada S, Haga K, Yortchan W, Suebsamarn O, Kobayashi R, Yamazaki M, Tanuma J, Hamano T, Shimokawa T, Tomihara K, Izumi K: The effect of carbon-ion beam irradiation on three-dimensional in vitro models of normal oral mucosa and oral cancer: development of a novel tool